

14 番（小川義昭議員）

ぜひ計画的な基金への積立て、これが必要かと思っておりますので、どうかよろしくお願いたします。

白山市公共施設等総合管理計画についての最後の質問です。

さきの公共施設等に関する特別委員会における意見に対する取組について伺います。

私が平成 31 年 3 月会議で白山市公共施設等総合管理計画について一般質問した後の 6 月会議において、公共施設等に関する特別委員会が設置され、翌年の令和 2 年 6 月会議中、当時の北嶋委員長より審査経過及び結果についての報告がなされました。

特別委員会では、公共施設の維持管理、利活用、見直しについて審議を行い、特に現在休止している公共施設の現状の把握と現地調査、公共施設用地の借地についての調査を行い、私も委員の一員として鋭意協議を行いました。その審査の中での主な意見に対して、その後の取組状況についてお伺いします。

まず 1 つ目、休止となっている面積 50 平方メートル以上の 51 施設は、今後再利用できる施設以外は総合管理計画に基づいて取り壊すとありますが、休止してから年数が経過していない施設などまだ使用できる建物については、管理運営方法を見直すことで再度利活用できないか検討し、売却も視野に入れながら進めること。

さらに、施設の休止に至った経緯や地元の意見を考慮しながら、傷みの激しい建物の取壊しを計画的に行う一方、建物の取壊しに備え、早めに施設内の書類や備品の整理に努めること。

2 つ目、公共施設の借地については、底地が借地となっている 105 の公共施設について、借地契約のタイミングに合わせ契約内容の確認と見直しを意識的に行うこと。また、借地料は市全体の合計額にして 1 億 3,800 万円余と高額であり、個別対応だけでなく全体を把握し、統括する体制の構築を検討すること。

3 つ目として、過去に建設された公共施設がこれから大量に更新時期を迎える一方で、その財政は依然として厳しい状況にあり、今後は公共施設の総合的かつ計画的な管理に取り組むこと。以上が特別委員会としての意見でありました。

私の今までの質問と重複するところもあろうかと思いますが、これらの意見に対する対応をその後どのように取り組まれているのか、改めて進捗状況をお伺いいたします。